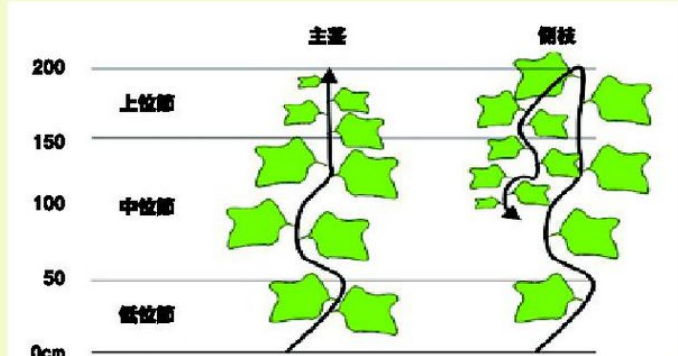
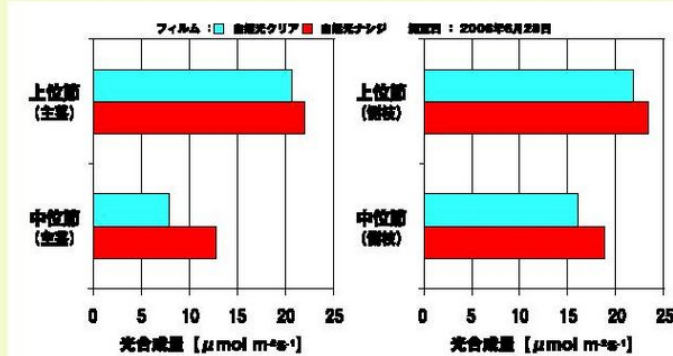


研究機関による試験



協力: ワーゲニンゲン大学(オランダ農業研究機関)

光合成量の比較 (作物: きゅうり)



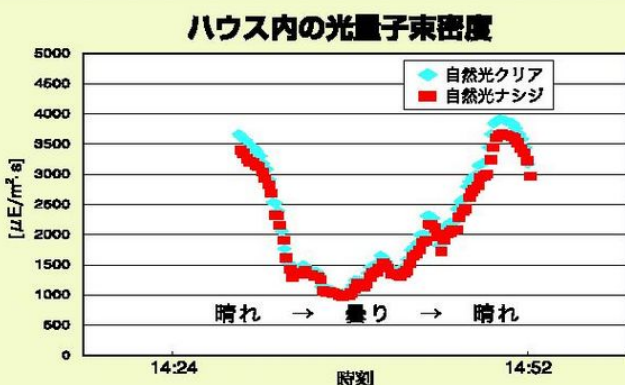
2006年4月から7月までの栽培期間において、ナシジハウス内ではクリアハウス内に比べ、4.3%の収量増ならびに7.8%の個数増が確認されました。

全方位光量子計データ

測定場所: 高知県南国市
測定日時: 2008.7.3

満足度調査

調査実施: 2008年



ご採用いただいた生産者の声

Q: 張替、増設でまたエフクリーンナシジを張りますか?



全方位光量子計で測定した結果、晴天でも曇天でもクリアとナシジ間において、ほとんど光量の差は見られませんでした。

全方位光量子計: 270度の広角度で光量子透過量を測定できる機器です。

一度使って頂くと「マイルドな光質が作物にも人にもやさしい」ことが体感でき、そのメリットから年々実績が増えています。

展開事例



品 種: 60 μm 自然光ナシジ
作 物: イチゴ
場 所: 栃木県



品 種: 80 μm GRナシジ
作 物: 輪菊
場 所: 茨城県



品 種: 80 μm GRナシジ
作 物: トマト
場 所: 愛知県

※ 特定の作物、特定のハウス形状においてメリットを十分に享受出来ない場合がございます。詳しくは弊社営業担当までお尋ね下さい。